

# 働く者の願いに応える公約ただちに実現を 「労働者派遣法の改正」「最低賃金時給千円」の早期実現を

先の総選挙では、自民・公明政権退場の審判が下され、民主党中心の政権がつけられました。

しかし、総選挙後も失業率、有効求人倍率は史上最悪水準を記録し、国民生活の危機はますます深刻になっています。このままでは昨年の「年越し派遣村」を上回る深刻な事態が起こりかねない状況です。

## 民主党の選挙公約は 最優先で実現を

「いのちと暮らしを守る」として、民主党が総選挙でマニフェストに掲げた「労働者派遣法の改正」「最低賃金時給千円」などは最優先に実現されなければなりません。日立と関連の職場では相変わらず低賃金での非正規雇用や、非正規切りを進めながら一方で新たな派遣労働の採用などが行われています。

## 労働者派遣法の改正 して雇用は社員が当たり前前の社会に

「使い捨て」を前提とした現行の「労働者派遣法」を、登録型派遣の原則禁止、製造業への派遣の禁止、違法行為があつた場合には

派遣先企業に直接雇用義務を課すなど、労働者派遣事業の適正な運営と、派遣労働者を保護する内容に抜本改正して「雇用は正社員が当たり前前の社会」をめざすべきです。

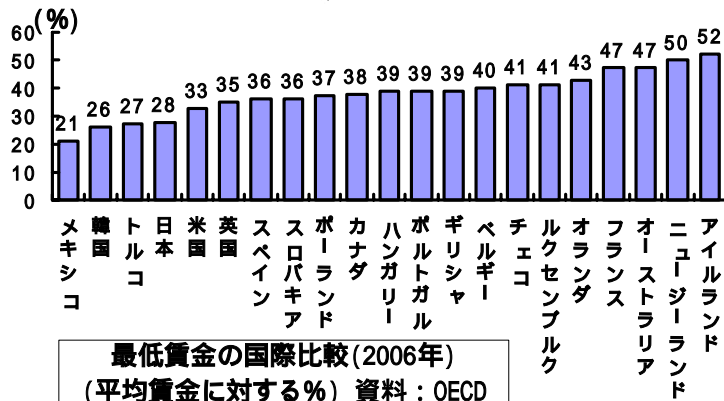
## 最低賃金引き上げは、まともな生活への第一歩

最低賃金が、時給673円（平均月額約11万5千円程度）では、とても生計費をまかなえません。最低賃金を“貧困のどん底”のよ

うな水準にしたまま放置することは許されません。中小企業への支援とあわせて、最低賃金を一律に時給千円以上への引き上げをすすめることが是非必要です。

## 今こそ労働組合が社会的責任を發揮して

職場では、労働組合が推薦・支持した民主党の政権が実現し、「これで少しは国民や働く者の声で政治が動く時代がきた」と期待しています。今こそ、労働組合がすべての労働者の雇用と暮らしを守る社会的役割と責任



を發揮して「労働者派遣法の改正」「最低賃金時給千円」の要求実現のために、政治を動かす運動と行動を強めるときです。



日立懇 <発行> 2009年11月号  
<日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net

最寄の連絡先 090-8747-6239 (馬場)



希望する人みんなが  
働き続けられるように

職場では毎月のように定年退職の挨拶回りをしている先輩達の姿を目にします。この春からは厚生年金の満額支給が原則5才となりました。引続き再雇用で働きたいと思っていたのに断わられたと、不満の声を多く耳にします。そう言えば最近雇用延長した人を見かけない。忙しい時は賃金半分で、仕事が少ない時はシャットアウトでは酷いもんだ。法律では年金支給年齢までの雇用確保の措置が各企業に義務づけられたと聞くが、会社の言う法令遵守(コンプライアンス)はどうなっているのか? (日立工機)

## 講演会の内容に納得

先日「ワークライフバランス」の講演会があり聴講した。企業と働く者両方の立場に立った内容で良かった。「年間労働時間が2000時間を超えているのは日本だけ」「22時以降に会社の前に立ってみて、灯りが光々と照っていたら長時間労働の会社」「人は起きてから13時間しか集中力が働かない」「出産・子育てしながら制度活用のために茨の道歩く先輩をみんなでバックアップして、ワークライフバランスの道を踏み慣らしてもらったことが大事」はその通りと納得した。(お)(情制)

## また赤字 創立100周年は?

日立は09年9月期の中間決算で1332億円の赤字になった。また、10年3月期も2300億円の赤字になる見通しと言った。賃金アップの据え置きやカフエテリアの凍結、無給での時短休など様々な経営施策に協力しているのに、これでは「焼け石水」だ。このままだと、12月の一時金も期待できないし、来年の創立100周年も何の恩恵もないのか? (日立)

## 応援は短期間の ローテーションで

受変製では11月から仕事が少なくなるといので、旧大みか工場(情制)へ3月まで応援に出ました。日立ESから出向者を受け入れておいて、他工場への応援には腑に落ちないところがあります。また、応援者がいつも同じようなメンバーで、今の職場で一人前に仕事したいという若い人の意欲がそがれてしまっています。ぜひ、応援者の要望でもある短期間でのローテーション(交替)で対応できないものでしょうか。(国分)

## 仕事なんとかして

AEパワー関連の現場では受注量の減少で作業量が極端に薄くなっています。「俺も今期いっぱいかな」「雇い止めが心配」「残業がなく困った」「また回されるかな?」などの不安と動揺が従業員に起きています。今年もAEパワーでは感電などの重大事故が発生しています、安心して仕事出来る施策を会社

が早急に示し、従業員の意識高揚をはかる必要が急務です

(AEパワー)

## 毎日2時間の

自己啓発はあり得ない

HIMECでは、勤休管理の監査があり、会社から時間外労働を自己啓発や雑談で処理しないように、毎日2時間も3時間も自己啓発や雑談はありえない。これから自己啓発にする時は内容も書くように。また2時過ぎの時間外も正直に付けるように」との話があった、とのこと。当然のことですが、なぜキチンとつけないのか疑問です。(水戸)

## 映画「沈まぬ太陽」

人はまっすぐに自分を貫いていけるのか? 航空会社の労働組合の委員長として、会社の合理化に先頭になって闘います。会社からの差別にも屈せず筋を通して生きる主人公。会社は報復人事として彼を10年近く、中東やアフリカに飛ばします。「わびを入れれば好きな部署に戻してやる」と言われるが、仲間顔を向けが出来ないと断ります。一方、一緒に労働組合を導いてきた友人が、組合分裂を導き、出世街道を走る。多くの人命を預かる航空会社、520名の命を奪った御巣鷹山の墜落事故を重ねる。今、日本航空の経営が問題になっています。この事とラップする映画です。是非ご覧ください。(日立勝田)

